



社会と大学

UHB大学入学式

令和4年4月12日

北海道大学 総長 宝金清博

本日の講演

- 1) 入学する皆様へのメッセージ
- 2) 社会と大学を考える
- 3) 失われた30年
- 4) 大学改革
- 5) 地域に生きる大学
- 6) 世界の課題解決 (SDGs)に貢献する大学
- 7) Take Home Message

孔子

紀元前552年～紀元前479年

生涯 74才

十五で学問を志し、三十にして独立した。

四十で迷いが消え、五十で天命を知った。

六十になると人の話に耳をかせるようになり、

七十になってやっと、人の道を外れることなく自由に行動できるようになった。

総長コラム

論語にある40歳の不惑の年齢など20年以上前の忘却の彼方、50歳の天命を知るべき時期も10年以上前に目にも止まらぬ速さで通り過ぎ、いよいよ、人格完成の境地に至り人の言うことを素直に聞くことができるはずの「耳順」の60代も半ばを過ぎてしまった。

40歳にして不惑、50歳にして知命、60歳にして耳順、ようやく70歳にして従心とは、孔子も随分と人格形成に手間隙のかかる成長の遅い凡人を想定したものだと思っていた。しかし、いざ、わが身を振り返ってみると、いよいよ耳順の年齢を過ぎてても、未だに母親の小言さえ満足に聞けない己の人格形成の未熟さに愕然とする。

しかし、あの母にして従心の境地には程遠く、煩惱に追われ、世の中の理不尽に対して罵詈雑言をまき散らす様を見てみると、到底、耳順（60歳）にも達していない。この親にしてこの子ありだ。親子そろって、どちらも不惑にすら辿り着ける見込みはない。

葛飾北斎は、70歳を過ぎてから、あの富嶽三十六景の神奈川沖浪裏を描いている。天才を評論するな、ど失敬千万であるが、波の描写も晩年になればなるほど研ぎ澄まされてくる。よく言われているように、神奈川沖浪裏の波濤の先端の描写は、デフォルメではなく、現在の超高速写真が一瞬に捉えるフラクタルのアルゴリズムが表現されている。北斎が70歳を過ぎてどのようにしてあの瞬間撮影の領域に辿り着いたのか、謎である。

はつきりしているのは、70年以上波を描き続けて、ようやく到達したことである。ご存知のように、北斎は長命で、90歳を超えるまで第一線で活躍した。臨終に当たっても、「もう10年、いや、5年長生きできたら、本当の画家になれたのに」と未完の己を悔やみ、未練がましくこの世を去っている。

いやはや、何たる成長の遅さ。



少年老いやすく学なりがたし
少年に学ばざれば老後に知らず



学問の道は、果てしなく、人の一生の長さではたどり着けない
若い時から勉強しなければ、もう間に合わない



これは、人間50年の時代の話



人生80年、90年、100年の長さの現代では、少し考え方を变える必要がある

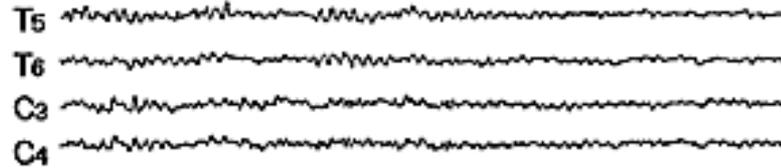
本日の講演

- 1) 入学する皆様へのメッセージ
- 2) 社会と大学を考える**
- 3) 失われた30年
- 4) 大学改革
- 5) 地域に生きる大学
- 6) 世界の課題解決 (SDGs)に貢献する大学
- 7) Take Home Message

常に、周囲に注意を払って、ビクビクしていなければ生きていけない

視床に外部刺激が入力している状態

速波



視覚



嗅覚



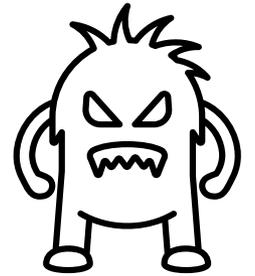
聴覚



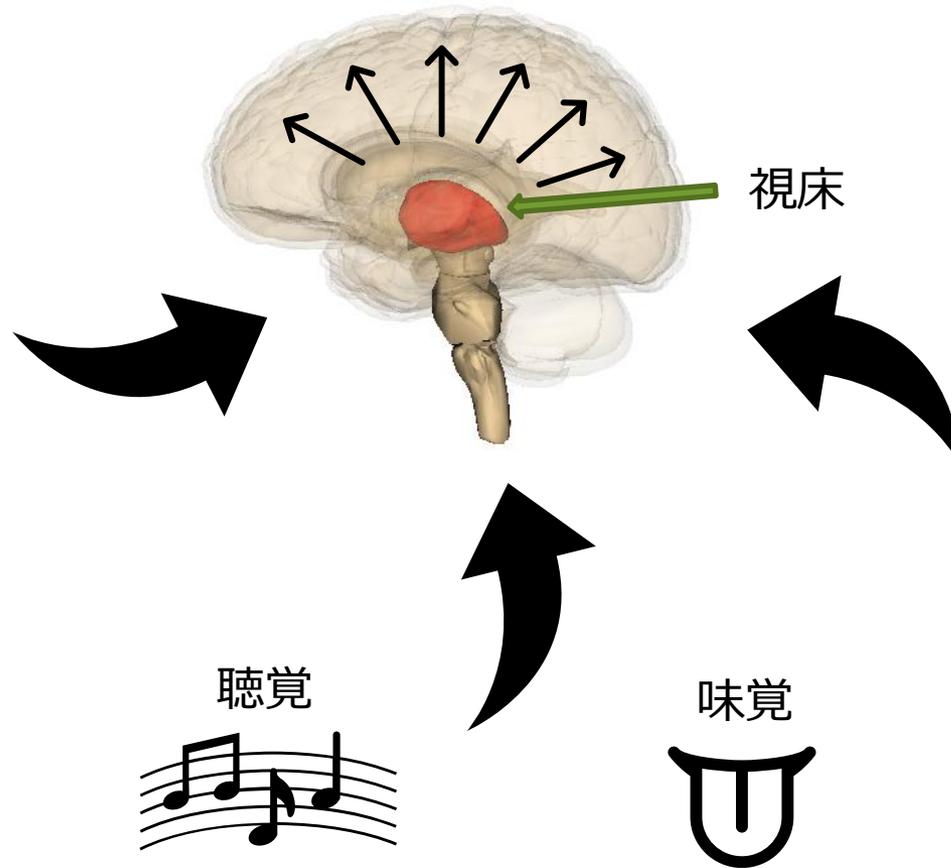
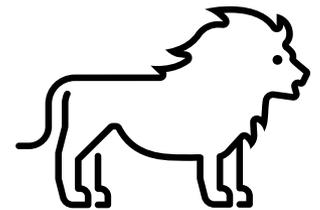
味覚



感情



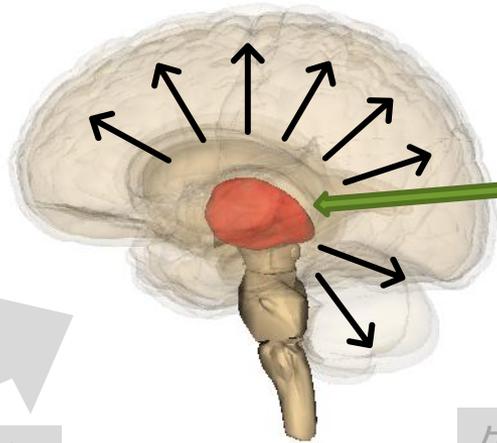
触覚・知覚



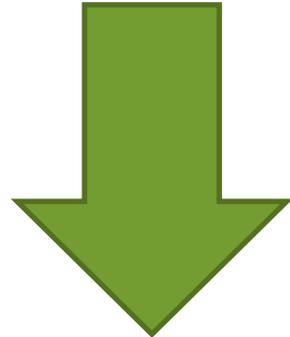
注意集中精神活動時

ビクビクしている状態

β波



視床



外部刺激の遮断

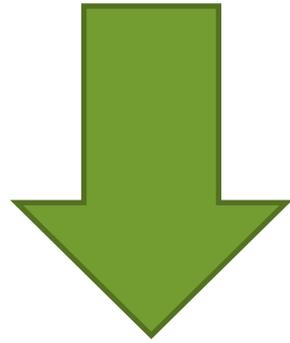
外部刺激

外部刺激

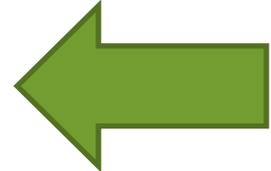
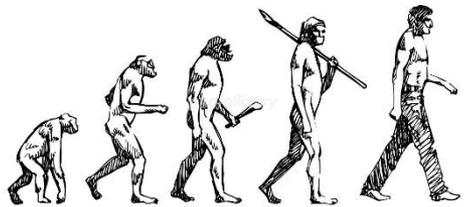
外部刺激

覚醒安静時

α波

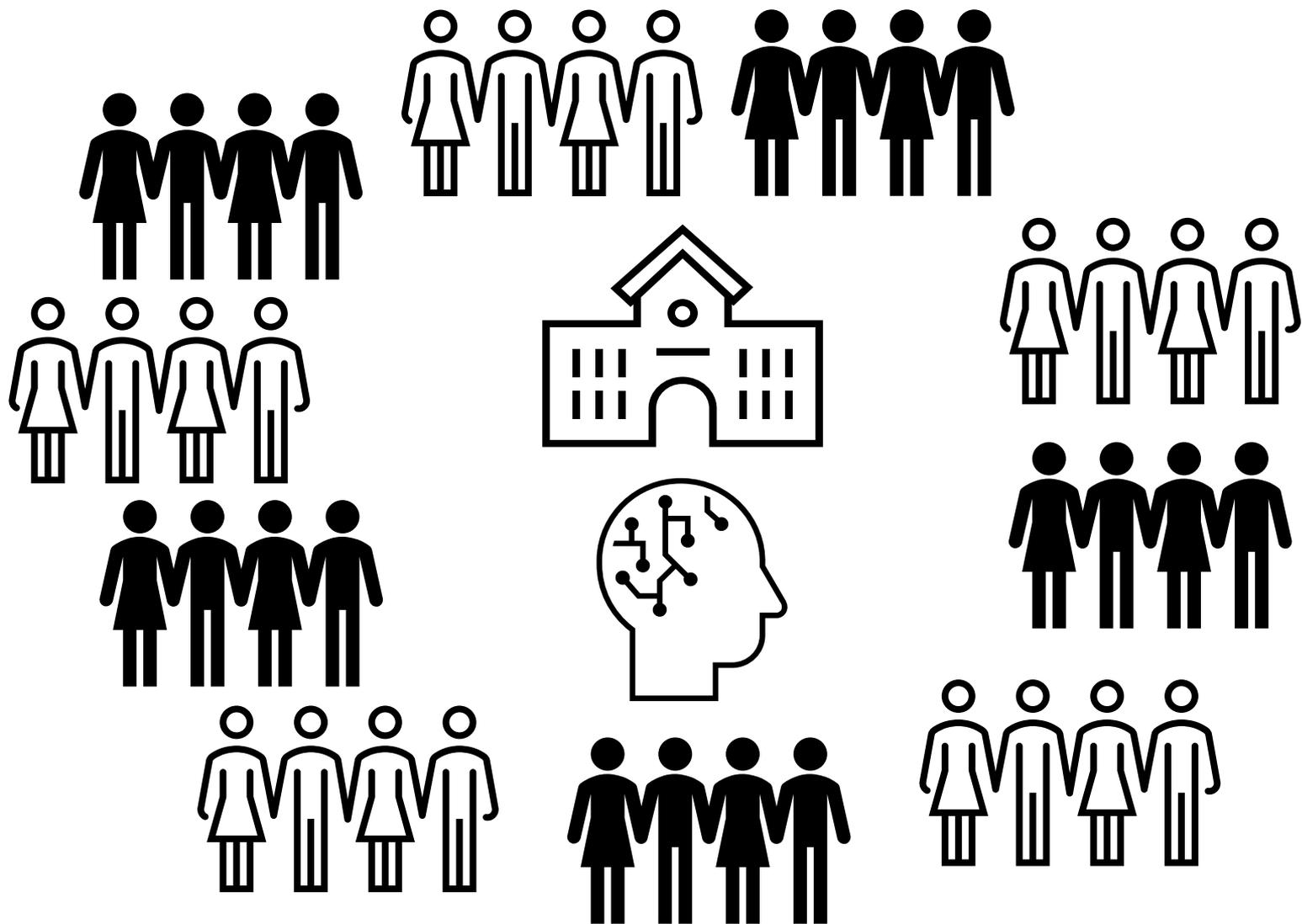


知性の出現



前頭葉（新皮質系）の劇的な発達

学術・アカデミア・大学の成立



知の拠点である大学は、人間社会にとって根源的な組織

良い社会・国・地域  **良い大学・学術**

大学と社会は連動している

本日の講演

- 1) 入学する皆様へのメッセージ
- 2) 社会と大学の関係を考える
- 3) 失われた30年**
- 4) 大学改革
- 5) 地域に生きる大学
- 6) 世界の課題解決 (SDGs)に貢献する大学
- 7) Take Home Message

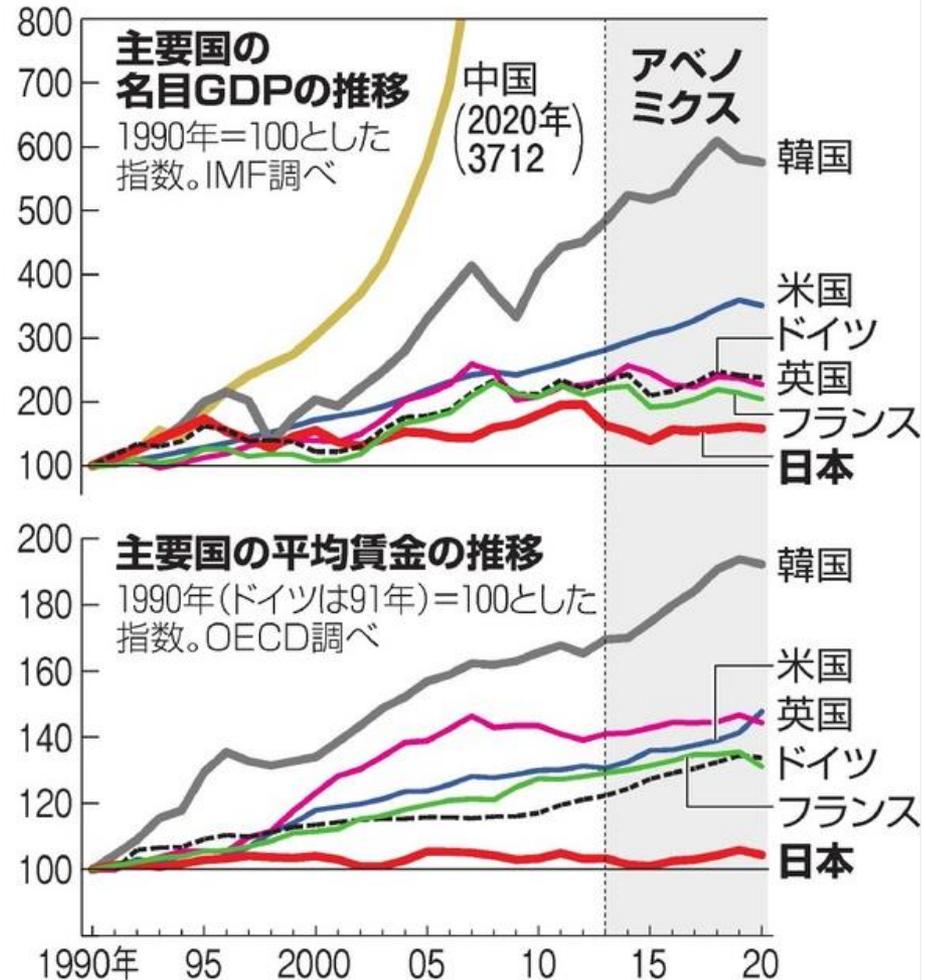
失われた30年

1990年～2020年（平成の30年）

経済の低迷

GDP↓↓

平均賃金↓↓



失われた30年の理由（私見）

欧米&中国



組織間を超えた連携・研究体制

規制緩和

ダイバーシティ&インクルージョン

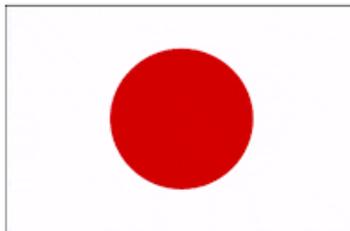
大学改革

強力な国家政策



オープンイノベーション

日本



昭和の成功体験

組織への帰属による連携

ダイバーシティ&インクルージョンの遅れ

大学独法化



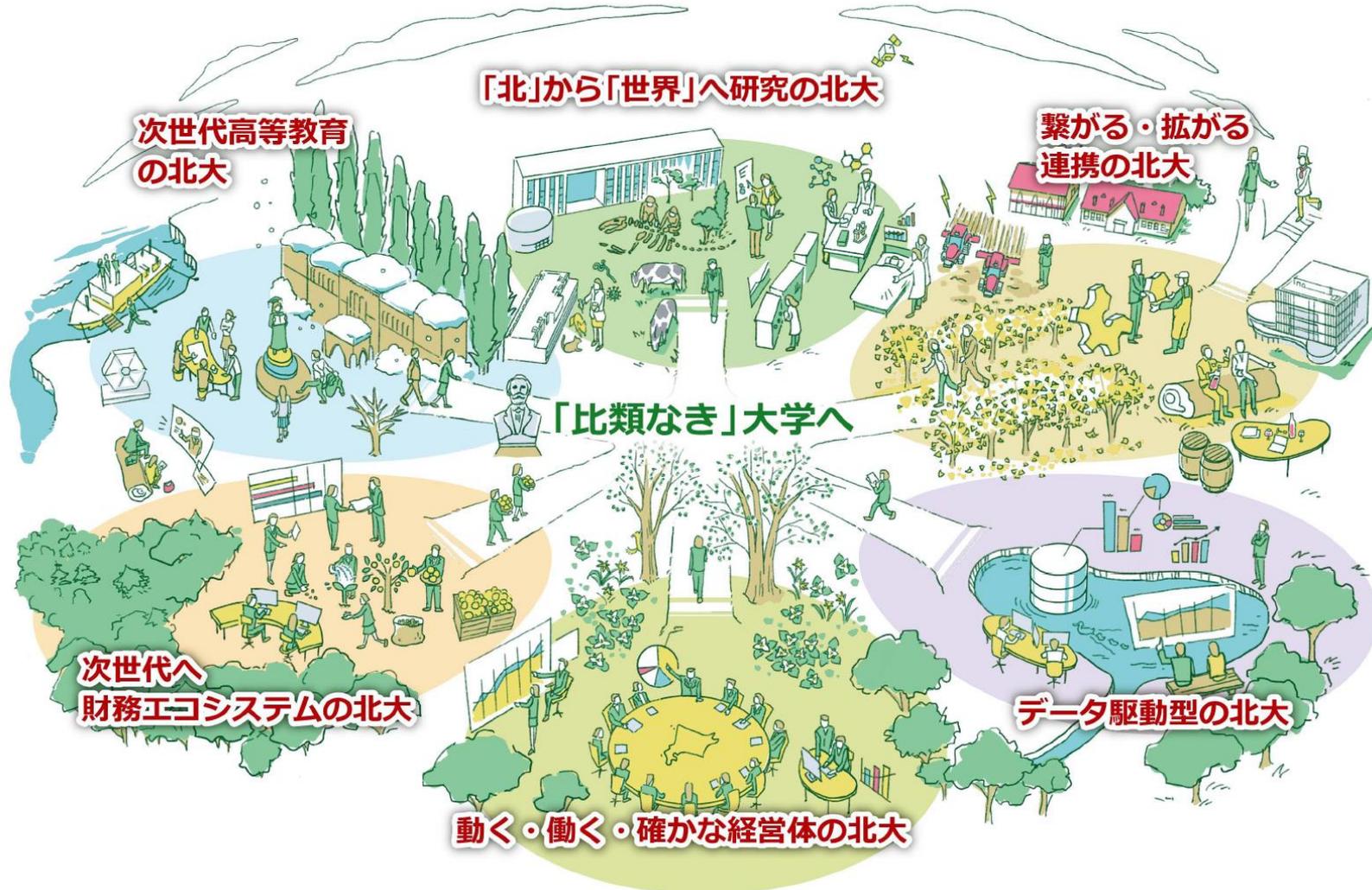
ガラパゴス化

本日の講演

- 1) 入学する皆様へのメッセージ
- 2) 社会と大学の関係を考える
- 3) 失われた30年
- 4) 大学改革**
- 5) 地域に生きる大学
- 6) 世界の課題解決 (SDGs)に貢献する大学
- 7) Take Home Message

2022年度～2027年度の6年間の計画

世界の課題解決 (SDGs 達成) に貢献する北海道大学





大学独法化



運営費交付金の低迷

自己財源の確保

経営概念の席卷

経営的自由度の拡張



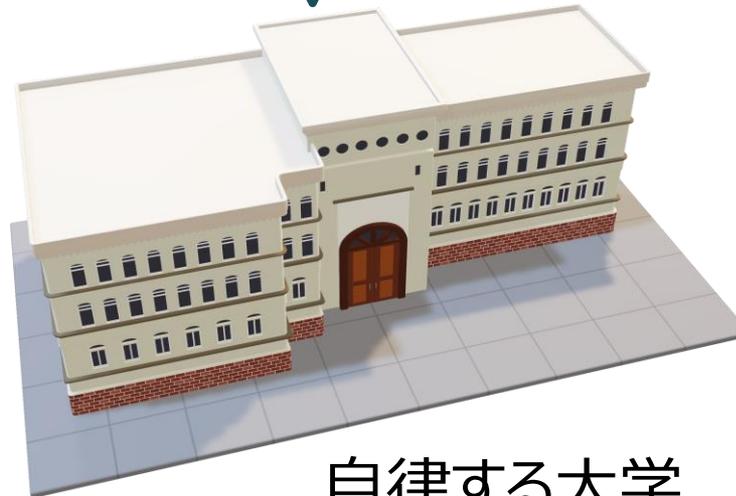
不動産資産
運用

コンサルティン
グ会社設立

ベンチャーキャ
ピタル設立

大学債発行

起業エコシス
テム



自律する大学



研究大学へ

大学院 = 研究力の基盤

学部学生	学部学生	11,313	
		149	11,462
大学院学生	修士コース	3,790	
	専門職	179	
	博士コース	2,425	
	研究生	185	6,579
研究所	研究生		65
			18,106
			留学生 2,094

研究 大学院

6500人

教育

学部学生

11500人

エンゲージメント経営



社会的弱者への寄り添い

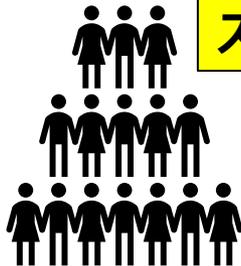
レカレント教育



小さな地域への貢献

世界の課題解決へ

ステークホルダー懇話会（仮称）



本日の講演

- 1) 入学する皆様へのメッセージ
- 2) 社会と大学の関係を考える
- 3) 失われた30年
- 4) 大学改革
- 5) 地域に生きる大学**
- 6) 世界の課題解決 (SDGs)に貢献する大学
- 7) Take Home Message

少子化に挑む！

地域共創の場（本格型）

「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」

Vision

「他者（ひと）とともに、自分らしく幸せに生きる社会」の実現
～こころとカラダの理解を通して、生きるための選択肢を増やす～



代表機関

北海道大学

幹事自治体

岩見沢市

幹事機関

国立成育医療研究センター

北海道

(株) 日立製作所



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY



PL 吉野正則
PL補佐 黄瀬信之
副PL 玉腰暁子、荒田尚子

ワイン・フード カルチャーに挑む



北海道サステイナブル・テロワール共創拠点

風土に根ざした心ゆたかな暮らしを地域の力で創造する



ワイン(ワイナリー&ヴィンヤード)

地域の気候風土がつくる農産物で、生産・加工・販売まで地域内で展開する6次産品

北海道の“食と自然”を支える食産業および観光産業等への波及効果が期待される

地域と都市の流動性を高める農産物で、今後予測される気候変動でも持続可能な産業



水産業と共創する

【魚介藻類養殖を核とした 持続可能な水産・海洋都市の構築】

～地域カーボンニュートラル*に貢献する
水産養殖の確立にむけて～

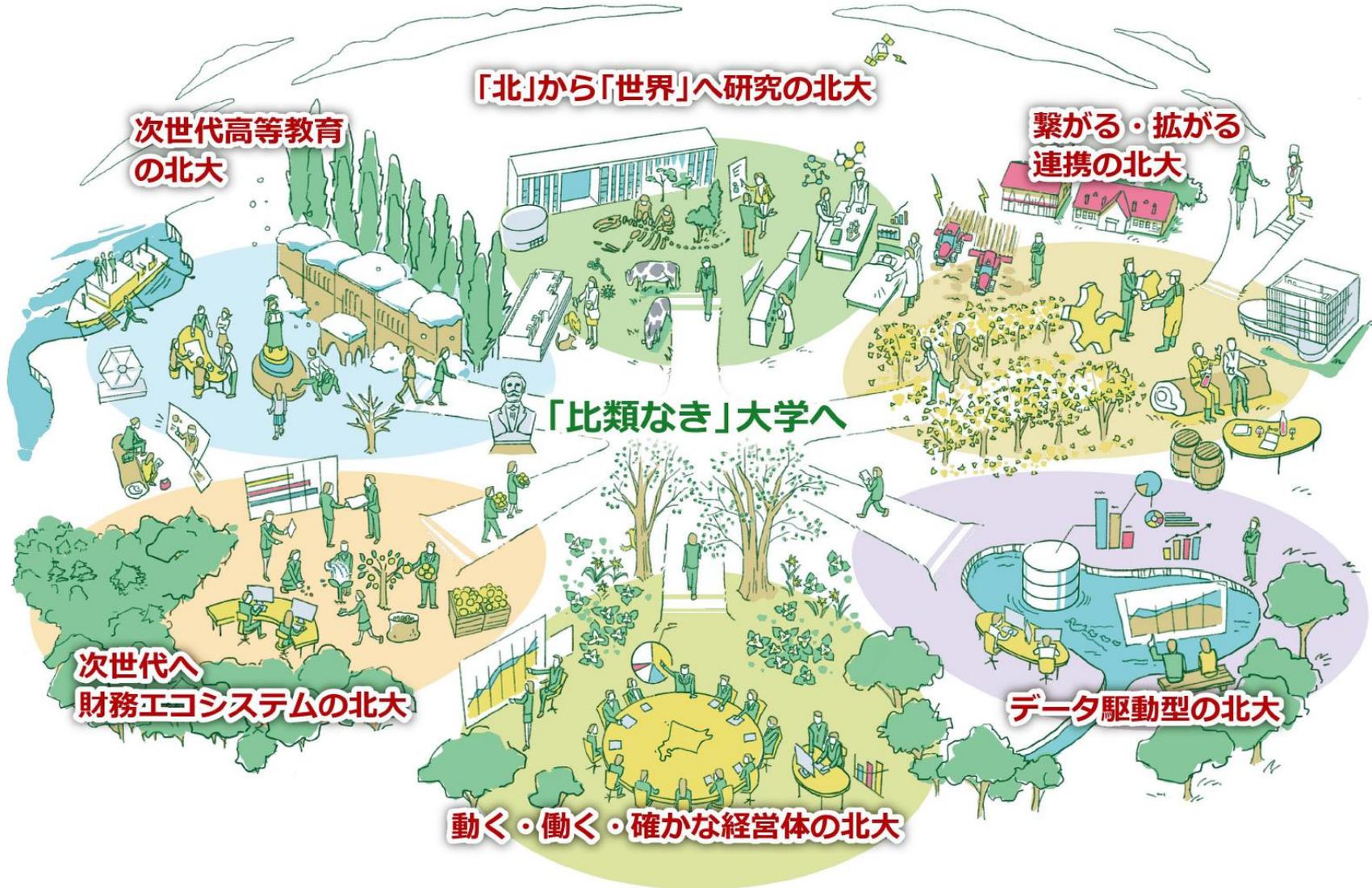
地域カーボンニュートラル* 都道府県単位でのカーボンニュートラル実現により、
日本の2050年ゼロカーボンの目標達成に貢献するもの

令和3年度地方大学・地域産業創生交付金 説明資料
(計画作成支援枠)

【函館市】



世界の課題解決 (SDGs 達成) に貢献する北海道大学



「北」から「世界」へ研究の北大

次世代高等教育
の北大

繋がる・拡がる
連携の北大

「比類なき」大学へ

次世代へ
財務エコシステムの北大

データ駆動型の北大

動く・働く・確かな経営体の北大

社会を支える人材

ミレニアル世代・Z世代・グレタ世代・SDGs Native世代

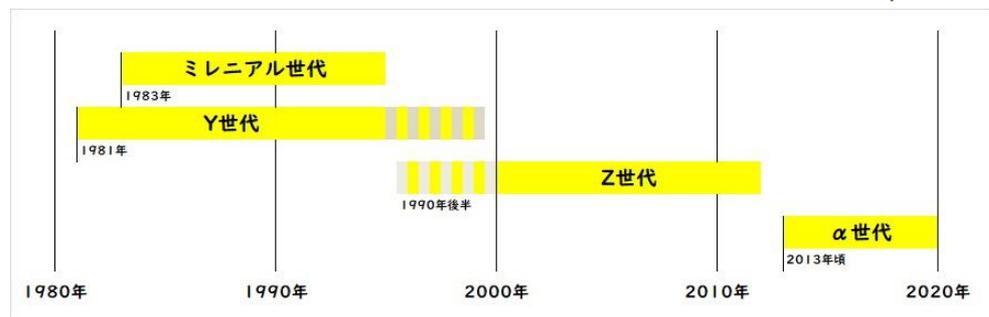
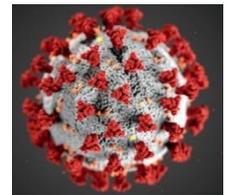
モノ消費・無駄な消費への嫌悪
必要なものを必要なだけ・シェアリング エコノミー
環境破壊の「共犯者」になりたくない



良質な教育は優れた次世代を作る

優れた次世代は、優れた世界を作る

コロナ禍



- ミレニアル世代：1981年～1995年生まれ
- Y世代：1981年～1995年生まれ（ミレニアルと同じ）
- Z世代：1996年代～2012年生まれ（ミレニアルより後の世代）

本日の講演

- 1) 入学する皆様へのメッセージ
- 2) 社会と大学の関係を考える
- 3) 失われた30年
- 4) 大学改革
- 5) 地域に生きる大学
- 6) 世界の課題解決 (SDGs)に貢献する大学**
- 7) Take Home Message



世界の課題解決に貢献する北海道大学へ
 "Contributing Towards the Resolution of Global Issues"

北海道大学 近未来戦略 150 FUTURE STRATEGY FOR THE 150TH ANNIVERSARY OF HOKKAIDO UNIVERSITY

世界の課題解決に貢献する
 北海道大学へ

世界の課題

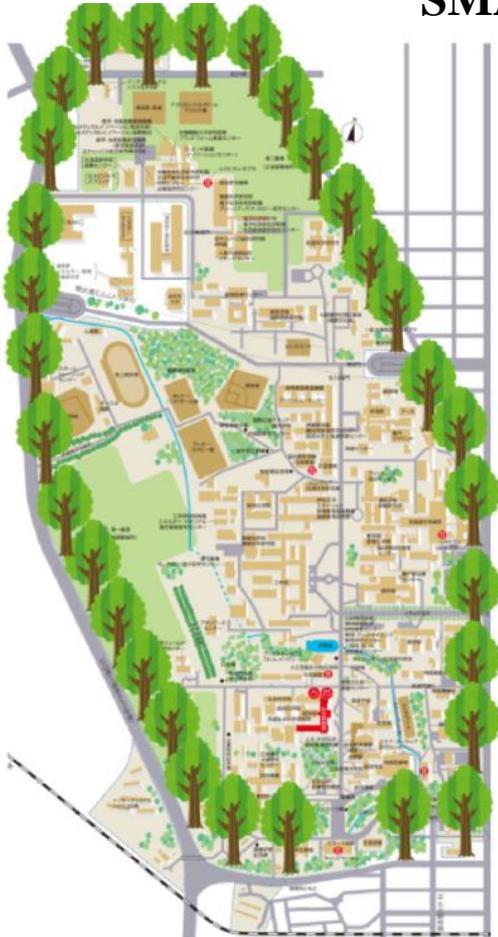


地球温暖化
 コロナ禍





SMART Green Recovery University



旧昆虫学及び養蚕学教室 (1901年)



古河講堂 (旧林学教室1909年)



旧農学部図書館 (1902年)



グリーンリカバリー・モデル大学事業 (大学債券)

HU・MAN Green Project

SDGs-ESG



コモンズの悲劇
Tragedy of the Commons
共有地は荒れる



小さな地域社会では一定のルールができて、持続的循環が守られる
実際に会えない人とは、信頼感は生まれないと考えられていた



しかし、時空を超えて、トラストができる
ローカル・コミュニティでしか存立しないトラストが時空を超えて生まれる

Society 5.0

新しい信頼感に基づいた社会創成

一人勝ちはない

全員負け or 全員勝利

本日の講演

- 1) 入学する皆様へのメッセージ
- 2) 社会と大学を考える
- 3) 失われた30年
- 4) 大学改革
- 5) 地域に生きる大学
- 6) 世界の課題解決 (SDGs)に貢献する大学
- 7) Take Home Message**

- 1) 新型コロナウイルス感染症
- 2) ウクライナの戦火
- 3) 地球温暖化による環境破壊



全て、人間・社会が起こした危機

3つの危機



**少年老いやすく学なりがたし
少年に学ばざれば老後に知らず**



**学問の道は、果てしなく、人の一生の長さではたどり着けない
若い時から勉強しなければ、もう間に合わない**



これは、人間50年の時代の話



人生80年、90年、100年の長さの現代では、少し考え方を変える必要がある



さらに、教育で次の人材につなげば、困難な学も芸術も大成して、世界を変える